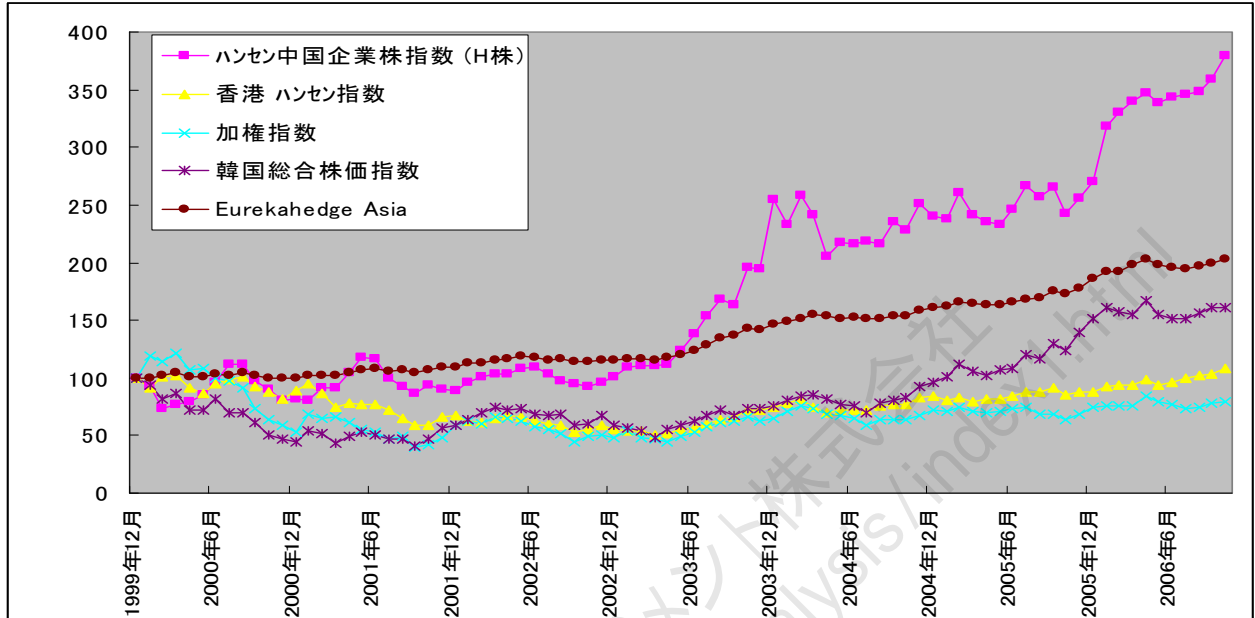


アジアン・ウェーブ

この「アジアン・ウェーブ」では、アジア大洋州市場をよりよく理解するための基本情報として、アジア大洋州市場に関する知識、投資テーマ、アジア市場対象のヘッジファンド動向などを取り上げて参ります。

Vol.10: アジア株式市場の市場リスクとヘッジファンド
(2006年11月30日作成)



出所：Bloomberg と Eureka Hedge から Zest Asset Management 作成

過去のアジアンウェーブではアジア株式市場は市場間の相関性とヘッジファンドとの相関性が高く、同一方向性（上図：ドルベースチャート）を確認してきました。その方向性をリスク抑制して運用するアジアのヘッジファンドの特性をお伝えして参りました（3月月次報告のアジア・ウェーブを参照のこと）。また、アジア株式市場は、各国特徴があること（4月のアジア・ウェーブを参照のこと）を確認しております。今回は、アジア各国市場リスクとの関わりを確認してみました。

下の図は、ASF（10ヶ月）と Eureka Hedge Asia Index（6年10ヶ月）の各国代表株式指数とのベータを表示し、数値が1を下回り、ヘッジファンドのトラックは市場リスクよりも個別リスクによる収益性であることを確認できます。これはリスク抑制されたヘッジファンドと市場変動との共分散が低いことに起因します。

	中国企業株指数 (H株)	香港 ハンセン指数	加権指数	韓国総合株価指数	インド NIFTY指数
年率収益率	47.8%	26.3%	5.7%	6.0%	37.8%
標準偏差	18.10%	11.58%	13.56%	14.93%	27.42%
相関係数(対ASF)	0.3633	0.4179	0.7420	0.6286	0.7591
ヒストリカルベータ	0.1042	0.1874	0.2841	0.2185	0.1437

	中国企業株指数 (H株)	香港 ハンセン指数	加権指数	韓国総合株価指数	インド NIFTY指数
相関係数(対Eureka Hedge Asia)	0.3931	0.4511	0.4472	0.6421	0.6164
ヒストリカルベータ	0.0833	0.1364	0.0866	0.1303	0.1432

ASF は円ベース、Eureka Hedge はドルベース比較：Zest Asset Management 作成

ヘッジファンドは、多様な戦略によりリスク抑制に努めた特徴を有しております。市場リスクの代表格の銘柄を売買する運用者、成長するためのコーポレートアクションで株式価値を高める企業に注目する運用者、割安目柄に注目する運用者など様々な運用戦略がアジア市場にもあります。ASF は新興市場においてもその国々の特性を把握し、リスクリワードを形成し収益性のある運用者の採用を目指して参ります。以上

本資料は広告ではなく公衆の使用あるいは公衆への配布の為のものではありません。本資料は当該ファンドの運用に関する情報提供を目的としたものであり、当該ファンドへの投資勧誘を目的として作成されたものではなく、従って正式な目論見書でも説明書でもありません。又、ここに示される過去の実績は将来の結果を保証するものではありません。当該ファンドは投資リスクを有しており投資価値減少を含むリスクを投資家が負います。投資判断・決定はご自身でなされるようお願い致します。本資料の無断複製・転送・引用等は行わないようお願い致します。資料使用者には十分な取扱注意が求められます。